

宇都宮市立陽西中学校

学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
「わかる授業」の展開、授業力の向上	・授業づくりの重点目標を作成し、「一人一授業」の公開を実施する。その後、授業の改善点や指導方法などについて話し合う研修の場を設ける。 ・ユニバーサルデザインの視点を生かした授業づくりの実践を通して、より多くの生徒にとって分かりやすく学びやすい授業作りを心がけ、授業力の向上に努める。 ・授業の学びあいのサイクル「つかむ」「学び合う」「まとめる」「振り返る」を着実に行う。 ・定期テスト前の期間に、放課後の時間を利用し、「質問学習」として各教科の担当教師に授業での分からないところを質問する時間を設ける。そこで、授業で理解が十分でなかったところの理解を深める。	・「学校の授業がどの程度分かりますか」との設問で、本校の肯定割合は市の平均をわずかながら下回っているが、8割を超えている。 ・「学習していて、おもしろい、楽しいと思うことがある」「学習して、いろいろなことが分かったり、できるようになったりすることはうれしい」との設問に肯定的に答えた生徒の割合は、市の平均をやや上回っている。
基礎・基本の確実な定着	・数学科や英語科において、チームティーチングや習熟度別学習を行い、学習が遅れがちな生徒の支援を行う。 ・平日の放課後1～2時間程度、希望者に対して数学を中心とした「レベルアップ学習」を行い、自習をしたりわからないところを質問したりして、基礎学力が不十分な生徒の個別指導を行う。 ・希望者を対象に、地域協議会と学校の共催で、月に2回程度「土曜学習サポート」を実施し、学習指導員を配し、2時間程度学習の時間を設け、わからないところを質問したり自習したりしながら理解を深める。	・国語・社会・理科・英語の各教科においては、基礎・活用ともにほぼ市の平均と同等であった。数学は、基礎は市の平均をやや下回ったが、活用においては市の平均と同等であった。 ・「学校の授業以外に、1日どれくらい学習していますか」との設問には、平日・休日ともに「ほとんどしていない」と答えた生徒の割合が市の平均を2ポイント程度上回っている。

★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

- ・「一人一授業」を継続して実施し、PDCAサイクルを踏まえて、教師が指導の改善を図るとともに生徒自らが学習を振り返って次の学習に向かうことができるように評価の在り方について検討していく。
- ・年度初めに、陽西地域学校園で作成した「家庭学習の手引き」をもとに、家庭学習の取組について様々な場面で指導を行い、家庭学習の習慣化を図る。
- ・各教科で自主学習として使用できるプリント等を準備し、生徒が自由に持ち帰れるようにする。また、随時新しい内容（プリント）に更新したことを知らせるボードを設置し、自主学習への取組を促す。
- ・一人1台端末を文具として、授業内外で日常的に活用することに加え、協働学習ソフト等を活用した授業を行い、教科の学びを深め、学びの本質に迫る。